

会場図



■ 出雲市民会館
〒693-0023
出雲市塩冶有原町2丁目15番地
TEL 0853-24-1212

■ ニューウェルシティ出雲
〒693-0023
出雲市塩冶有原町2丁目15番地1
TEL 0853-23-7388



JR出雲市駅から約1km 徒歩15分程度
一畑バス「上塩冶車庫方面」バス乗車 約5分
(便数は少ない)



■ 荘原小学校
〒699-0503 出雲市斐川町神庭273 TEL 0853-72-1531
空港連絡バス 斐川東中入口バス停から約1km 徒歩15分
JR荘原駅から約1km 徒歩15分



■ 西野小学校
〒699-0621 出雲市斐川町富村559 TEL 0853-72-0149
空港連絡バス 富村バス停から約0.5km 徒歩8分
JR直江駅から約1km 徒歩15分



■ 中部小学校
〒699-0631 出雲市斐川町直江4243 TEL 0853-72-0515
空港連絡バス 小原バス停から約1km 徒歩15分



各都道府県教育委員会教育長様
各市区町村教育委員会教育長様
各都道府県社会科教育研究会会長様
各都道府県小学校長・義務教育学校長様
社会科教育関係者様

全国小学校社会科研究協議会 会長 石井 正広
島根大会実行委員長 飯塚 積

第62回 全国小学校社会科研究協議会研究大会
第33回 中国地区小学校社会科研究協議会研究大会
第35回 島根県社会科教育研究大会

島根大会のご案内 (最終案内)

大会主題

地域に学び 未来を共に拓く生き方を問い続ける社会科学習

～互いに関わりながら、主体的に考え、追究する力の育成を目指して～



令和6年10月31日(木) 全体会 13:00~16:45 出雲市民会館
令和6年11月 1日(金) 会場校別研究会 10:00~16:30 出雲市斐川町内3会場

●大会日程

1日目 10月31日(木) 会場：出雲市民会館 ニューウェルシティ出雲									
12:30	13:00	14:00	15:00	15:15	16:40	16:45	◇理事会 17:20~18:20		
受付	開会行事 総会	全体会 大会主題提案・指導講評	休憩	記念講演	閉会行事		◇直会(レセプション) 18:30~20:30		
2日目 11月1日(金) 会場：出雲市立荘原小学校 出雲市立西野小学校 出雲市立中部小学校									
9:15	10:00	10:45	11:00	12:00	13:00	14:20	14:40	16:30	
受付	公開授業	移動	全体会	昼食	学年別 授業研究会	休憩	学年別 課題研究会		



大会日程はこちらから
(島根県社会科教育研究会ホームページ)

大会参加の申込はこちらから

申込専用ホームページ https://va.apollon.nta.co.jp/zenshosha_shimane/



〈主催〉全国小学校社会科研究協議会 中国地区小学校社会科研究協議会 島根県社会科教育研究会
〈後援〉文部科学省 島根県教育委員会 出雲市教育委員会 全国連合小学校長会 島根県小学校長会
出雲市小学校長会 島根県教育研究会

研究概要

1 研究主題

地域に学び、未来を共に拓く生き方を問い続ける社会科学習

【地域に学び】

子どもと学習問題とを、くらしという観点でつなぐ社会科学習を構想する。

そのために

子どものくらしの場である地域のひと・もの・ことに積極的に関わることでできる学習過程を大切にす。

こうすることで

発見した問題を自分に関係ある事としてとらえられるようにし、「何のために活動(学習)するのか」という子ども自身が目的をもった学習活動の成立をめざす。

【未来を共に拓く】

よりよい生き方、よりよい社会、よりよい未来を生み出すための社会科学習を構想する。

そのために

社会的事象に関わる人々の願いや思いにふれたり、仲間とともに話し合ったりしながら、よりよい社会の在り方やその社会への関わり方について考えられる学習過程を大切にす。

こうすることで

社会的事象から問題を発見したり社会にある課題に気づいたりし、その解決のために何が大切なのかを、生活者の一人として考える学習活動の成立をめざす。

【生き方を問い続ける】

学習終了後も対象の社会的事象に関心をもち、追究・検証し続ける態度を育てる社会科学習を構想する。

そのために

「疑問をもつ」「調べる」「知る」「考える」を繰り返す学習過程の工夫と構造的な知識が習得できる学習過程を大切にす。

こうすることで

誰かに求められてではなく、「もっと知りたいという意欲に支えられた問い続けられる力」が自然に発揮される学習活動の成立をめざす。

子どものとらえ

- 子どもが社会に関わることで見出した疑問や問題点について、「よりよいくらしにしたい」「よりよい社会をつくりたい」という思いや願いをもちながら、その解決に向けて主体的に活動するだろう。
- 自分がくらし社会をよりよくするために「自分には何ができるのか」「自分は何をすべきか」という問いをもち、それに対する答えを見出そうと追究するだろう。

- 子どもたち一人一人のくらしの場やそこでの経験が一樣ではないことから、学習活動の契機となる問題意識、対象への迫り方、わかったことや考えたことの内容や伝え方、解決方法やそこに込めた願いや思いなどの一つ一つに個の姿が表れ、そうして展開される話し合いは多面的・多角的なものとなり、教室という場はより確かな見方・考え方で社会をとらえることのできる社会科学習の場となるだろう。

子どもとは
学習者である以前に、社会に生きる一人の人間であり、生活者である。

学習指導要領の改定のポイント

- 社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を充実し、知識や思考力等を基盤として社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力を育てていくことが求められる。

- 対話的な学びについては、実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりする活動の一層の充実を期待する。

2 研究の具体的内容

①教材の開発

- 育てたい姿の育成にむけ、該当単元に必要な資質・能力の明確化。
- 子どもが問題を追究するうえで働かせる「社会的事象の見方・考え方」として効果的なものの検討。
- 子どもの追究意欲を支える、地域にある社会的事象の教材化。

②学習過程と問い

- 子どもが追究したくなるような社会的事象との出合わせ方の工夫。
- 「社会的事象の見方・考え方」を働かせることのできる問いの検討。
- 習得させたい知識とそのために見方・考え方が働くよう促す問いについて、単元全体で見通すことのできる「知識と問いの構造図」の作成。

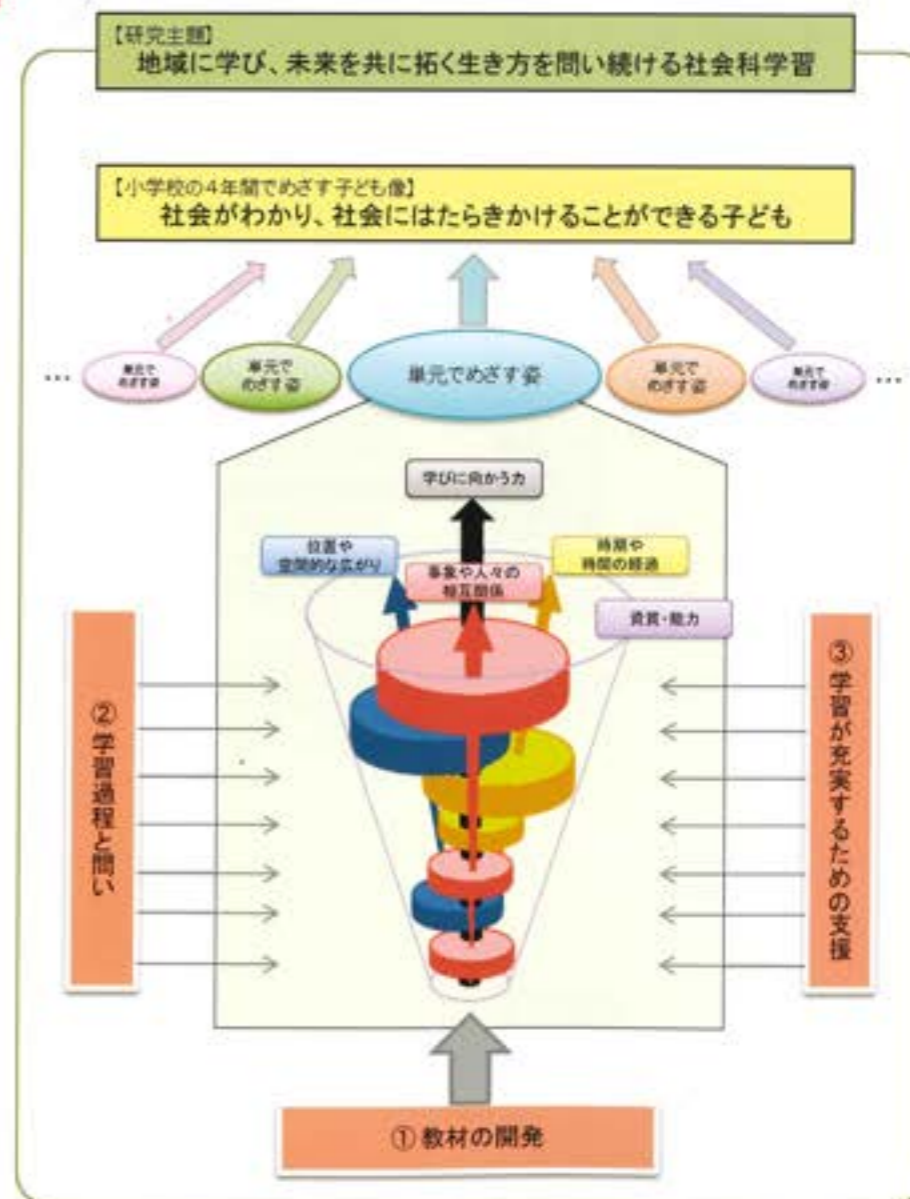


「知識と問いの構造図」

③1時間1時間の学習が充実するための支援

- 子どもの思考を予想し、追究の契機となる中心資料とそれを支える補助資料の用意。
- 子ども一人一人の意識や思考、あるいはその変容の様子が教室内で共有できる方法の工夫。
- 子どもの意識や思考を認めたり掘り下げたりするための視点の明確化。
- 子どもの追究を後押しできるとともに、子ども自身がそのよさを自覚できるための方法やその伝え方の工夫。

3 研究構想図



大会の概要

1日目 10月31日(木)

会場：出雲市民会館 ニューウェルシティ出雲

◆全体会場：出雲市民会館

〒693-0023 出雲市塩冶有原町2丁目15番地 TEL 0853-24-1212

全体会指導講師：文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 小倉 勝登 様

記念講演講師：万九千神社宮司 出雲市文化財保護審議会委員 錦田 剛志 様

演題「神在月の国 出雲 ～日本中の八百万神はなぜこの地に集まれるのか?～」

記念講演講師紹介

昭和44年、出雲市斐川町生。國學院大學文学部史学科卒業後、島根県教育庁研究職（県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員等）を経て、代々の神職に専従。島根県公安委員会委員・出雲市文化財保護審議会委員。前出雲市教育委員。著書に「神々の集う出雲の国 神在月」「出雲大社平成の大遷宮（山陰中央新報社）」「出雲大社ゆるり旅」（ポプラ社）、「古代出雲大社の祭儀と神殿」、「伊勢と出雲の神々」（学生社）など。



◆理事会・直会(レセプション)会場：ニューウェルシティ出雲

〒693-0023 出雲市塩冶有原町2丁目15番地1 TEL 0853-23-7388

2日目 11月1日(金)

第1会場 出雲市立荘原小学校 〒699-0503 出雲市斐川町神庭273 TEL 0853-72-1531

指導講師：大妻女子大学教授 澤井 陽介 先生

第2会場 出雲市立西野小学校 〒699-0621 出雲市斐川町富村559 TEL 0853-72-0149

指導講師：島根大学教授 加藤 寿朗 先生

第3会場 出雲市立中部小学校 〒699-0631 出雲市斐川町直江4243 TEL 0853-72-0515

指導講師：広島大学教授 永田 忠道 先生

大会参加申し込みのご案内

1 参加申し込み方法 今大会の申し込み方法はホームページによるオンライン受付になります。参加される方は、必ず事前の申し込みをお願いします。下記アドレスまたはQRコードよりホームページにアクセスください。

申込専用ホームページ

https://va.apollon.nta.co.jp/zenshosha_shimane/



- ①大会申込サイトより個人単位でお申し込みください。
- ②お申し込み完了後、お申し込み確認のメールが届きますのでご確認ください。
- ③登録の際、各自設定のパスワードが必要となります。申し込み後、予約の確認や変更が必要となりますので、ご自身でお控えください。
- ④変更等は、同サイトより手続きをお願いいたします。
- ⑤お支払いは、銀行振込、クレジットカード等指定の方法にてお願いいたします。
※領収証が必要な方は、ホームページより出力ください。
- ⑥申し込み後のキャンセル・返金はできません。

2 参加申し込み受付期間

受付開始：令和6年8月 1日(木) 14:00より

申込締切：令和6年9月20日(金) 17:00まで

参加費入金締切：令和6年10月1日(火) 厳守

3 参加申し込み内容について

- ①大会参加費(資料代を含む) **お一人 5,000円**
大会参加費は主催者からの委託により(株)日本旅行が収受します。大会参加費を収受した時点で申し込み完了となります。
- ②2日目授業会場校近辺には飲食店はありませんので、お弁当の購入をお勧めします。料金については、申込専用ホームページにてご確認ください。
- ③会場(島根)までの交通手段の斡旋は行いません。各自でのお手配をお願いします。
- ④2日目(11/1)は、出雲市駅・松江駅と会場校を往復する臨時輸送バスを手配します(料金往復1,000円)。発車時刻等は、後日メール配信にてお知らせします。
- ⑤宿泊場所については、申込専用ホームページにて斡旋ができます。各自で手配されても構いません(この時期、出雲は「神在月」のため観光シーズンですので、早めのご予約をお勧めします)。

申込・宿泊に関するお問い合わせ

株式会社日本旅行TIS松江支店「社会科研究大会島根大会」係

〒690-0003 松江市朝日町472-2 JR松江駅構内

TEL:0852-22-0011 FAX:0852-27-8562

E-mail:matsue_tis@nta.co.jp

営業時間：11:00～17:00 休業日：水・土・日・祝祭日

担当：佐藤

大会に関するお問い合わせ 島根大会実行委員会事務局

◆大会運営・申込について 〒699-0554 島根県出雲市斐川町三分市1076 出雲市立出東小学校長 桑 康人
TEL:0853-62-2827 FAX:0853-62-5625 E-mail:sus-school@izumo.ed.jp

◆研究・理論・授業について 〒691-0076 島根県出雲市園町64-2 出雲市立朝陽小学校長 山本 芳正
TEL:0853-63-2615 FAX:0853-63-2618 E-mail:aes-school@izumo.ed.jp

第1会場 出雲市立荘原小学校

学校概要

●地域の特色

本校は明治6年(1873年)に西念寺に開校し、二宮尊徳の「至誠報徳」を理念とする伝統校で、令和5年度に創立150周年を迎えました。また、校地内に島根県指定史跡神庭岩船山古墳を擁し、校区には国宝の銅剣・銅鐔・銅矛が出土した荒神谷遺跡や高瀬城(山城)があり、悠久の歴史を感じることができます。学校の周辺には、農業が盛んな出雲平野や、シジミ漁獲高全国1位を誇る宍道湖の他に、出雲緑結び空港・高速道路・鉄道等の交通機関、日本三美人の湯の一つである湯の川温泉、消防署や市役所支所、様々な店舗や企業・工場があります。これらの豊かな「ひと・もの・こと」を生かし、地域と連携・協働して教育活動に取り組んでいます。



●創立 明治6年(1873年) ●校長 廣澤 守

●児童数 425人 学級数 19学級 (令和6年5月1日現在)

●住所 〒699-0503 島根県出雲市斐川町神庭273 URL: <https://www.izumo.ed.jp/shobara-sho/>



研究の概要

身近な地域の社会的事象を教材化し、自分との関わりで生まれた問いをもち、社会科の見方・考え方を働かせながら、特色や相互の関連・意味という「見えないこと」を考える力をつける授業に取り組んでいます。学習問題について考えたり、地域の人々の工夫や努力から学んだりしながら、社会について、その仕組みを理解し、よりよくすることを考え、表現する子どもの育成をめざしています。

- ①実社会に目を向ける教材の工夫
- ②自分の問いをもち、調べ方を選択し、対話的に課題解決をする場の位置づけ
- ③思考を深め、自分につなげて考える「焦点化する問い」の工夫

公開授業・学年別授業研究会

※学級閉鎖等により、公開授業の内容等が変更になる場合があります。

学年	組	授業者	小単元名	司会者	助言者
3	1	山根 佳代	「はたらく人とわたしたちのくらし」 農家の仕事	奥出雲町立横田小学校 教頭 若菜 慎也	松江市立恵曇小学校 校長 濱岡 宏行
	2	高橋 郁也	～Fさんのミニトマトづくり～		
4	1	濱田 泉	「きょう土の伝統・文化と先人たち」 残したいもの 伝えたいもの	出雲市立出東小学校 教頭 勝部 孝	松江市立義務教育学校玉湯学園 教頭 和田 律央
	2	和田 優佑	～荘原に伝わる羽根盆おどり～		
5	1	野々村 頼和	「わたしたちの生活と工業生産」 自動車をつくる工業	出雲市立塩冶小学校 教頭 吉廣 恭由子	松江教育事務所 指導主事(兼)企画幹 植田 道
	2	柳樂 雅善			
6	1	安田 奈央	「戦国の世から天下統一へ」	出雲市立瀬分小学校 教頭 岡村 朗	松江市立義務教育学校玉湯学園 教頭 前島 美佐江
	2	岡村 慈久			

学年別課題研究会

学年	提案都道府県	提案者	司会者	助言者
3	広島県	福山市立東小学校 教諭 松野 雄太	福山市立東小学校 教諭 柏 直緒	福山市立駅家北小学校 校長 松葉 信男
	島根県	益田市立安田小学校 教諭 村上 真子		
4	東京都	東大和市立第三小学校 主幹教諭 井上 寛介	新宿区立四谷小学校 主任教諭 名取 慶	青梅市立今井小学校 校長 神尾 健彦
	島根県	奥出雲町立三成小学校 教諭 持田 大		
5	岩手県	盛岡市立緑が丘小学校 教諭 三浦 一太	盛岡市立仁王小学校 教諭 菅原 斉	盛岡市立桜城小学校 校長 飯岡 竜太郎
	島根県	知夫村立知夫小学校 教諭 三島 健 隠岐の島町立北小学校 教諭 高橋 祐也		
6	山口県	岩国市立川下小学校 教諭 長岡 郁実	柳井市立柳井小学校 教諭 中村 高之	防府市立草浦小学校 校長 川本 尚貴
	島根県	松江市立八雲小学校 教諭 奥村 裕孝		

第2会場 出雲市立西野小学校

学校概要

● 地域の特徴

本校は、3つの学校の統合により誕生した54年の歴史をもつ学校です。校区の大部分は、斐伊川の沖積作用にて形成された肥沃な平野で、米を中心とした穀倉地帯です。また、近年は大規模な工場の建設や住宅団地の造成が進み、人口も増加して活気にあふれています。本校在学中に「地球の秘密」という環境保全に関するマンガを描いた直後、短い生涯を閉じた坪田(つばた)愛華(あいか)さんの思いを受け継ぎ、本校では環境教育に力を入れています。地域のごみゼロをめざす「ゴミ0(リン)ピック」を開いたり、地元企業と「食品ロス削減チャレンジ」の対決をしたりするなど、環境保護活動にも積極的に取り組んでいます。

● 創立 昭和45年(1970年) ● 校長 小川 恵美

● 児童数 702人 学級数 27学級(令和6年5月1日現在)

● 住所 〒699-0621 島根県出雲市斐川町富村559 URL: <https://www.izumo.ed.jp/nishino-sho/>



研究の概要

本校では研究主題を「地域に学び、自ら問い続け、よりよい社会を考える子どもの育成～問いと知識を明確にした学習過程の在り方～」とし、社会事象に関心をもち、追究・検証しながら、自ら課題解決をしていく力を育てることを目標に研究を推進しています。

子どもの思考の流れを大切に、我がこととして考えていくことができる授業の実現のため、次のことに力を入れて実践しています。

①本教材に関わる子どもの実態 ②子どもの思考と学習問題をつなぐ単元づくり ③課題解決に向け、自ら問い続ける授業づくり

公開授業・学年別授業研究会

※学級閉鎖等により、公開授業の内容等が変更になる場合があります。

学年	組	授業者	小単元名	司会者	助言者
3	1	重栢 伸也	「くらしを守る」 火事からくらしを守る	松江市立城北小学校 校長 山根 肇	江津市立津宮小学校 校長 土井 伸一
	4	堀田 賢弥	～地域を守る消防団～		
4	1	横森 圭	「きょう土の伝統・文化と先人たち」 残したいもの 伝えたいもの	出雲市立北陽小学校 教頭 有田 幸樹	前松江市立本庄小学校 校長 福岡 敏之
	2	植田 まき	～新川の節制～		
5	1	小瀬 健吾	「わたしたちの生活と工業生産」 これからの工業生産とわたしたち	出雲市立湖陵小学校 教諭 石飛 悠也	島根県教育センター 調整監 高木 敏光
	2	石橋 沙季	～日本の工業生産を支える島根の工業生産～		
6	3	錦織 政人	「明治の国づくりを進めた人々」	松江市立雑賀小学校 校長 藤井 康二	島根県教育委員会教育指導課 指導主事 宮本 俊輔
	4	安食 竜			

学年別課題研究会

学年	提案都道府県	提案者	司会者	助言者
3	北海道	札幌市立山鼻小学校 教諭 中田 充	札幌市立ノホ口の丘小学校 主幹教諭 佐々木 英明	札幌市立中沼小学校 校長 大畑 秀樹
	島根県	浜田市立石見小学校 教諭 安達 誠弥	浜田市立石見小学校 校長 伊津 洋士	江津市立津宮小学校 校長 土井 伸一
4	鳥取県	鳥取市散飯小学校 教諭 野村 大地	岩美町立岩美南小学校 教諭 尾崎 隆宏	八頭町立那家西小学校 校長 葉狩 学
	島根県	江津市立津宮小学校 主幹教諭 多々納 真吾	江津市立津宮小学校 教諭 中上 美紀	前松江市立本庄小学校 校長 福岡 敏之
5	福岡県	飯塚市立藤田小学校 教諭 外崎 顕博	田川郡糸田町立糸田小学校 主幹教諭 野田 大樹	飯塚市立伊岐須小学校 教頭 永水 徳之
	島根県	雲南市立阿用小学校 教諭 吾郷 美保	雲南市立阿用小学校 教諭 三代 誠	島根県教育センター 調整監 高木 敏光
6	兵庫県	神戸市立白川小学校 教諭 勝田 耕介	神戸市立丸山ひばり小学校 教諭 石井 晶士	神戸市立白川小学校 校長 長崎 康子
	島根県	飯南町立赤名小学校 教諭 三原 吉希	飯南町立赤名小学校 教頭 園山 学	島根県教育委員会教育指導課 指導主事 宮本 俊輔

第3会場 出雲市立中部小学校

学校概要

● 地域の特徴

本校は、昭和44年に近隣の直江小学校と久木小学校とが統合して新設され、本年度で開校55年を迎えました。学校のある出雲市斐川町は、出雲平野の東にあり、豊かな穀倉地帯が広がっています。学校周辺には、築地松を持つ散居集落があり、田園風景が美しい地域です。校区の南側には、県内でも有数の工業拠点として先端技術産業の集積地が形成され、斐川中央工業団地の整備が進んでいます。本校は近年、外国につながる児童が増加したことで日本語指導の拠点校となりました。日本の文化はもちろん、外国につながる児童の文化も尊重しながら学習や学校生活が送れるように取り組んでいます。

● 創立 昭和44年(1969年) ● 校長 須田 勉

● 児童数 414人 学級数 19学級(令和6年5月1日現在)

● 住所 〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江4243 URL: <https://www.izumo.ed.jp/chubu-sho/>



研究の概要

子供たちが自分事のできる魅力ある教材の開発をテーマに実践研究に取り組んできました。「なぜ」「どうして」「知りたい」という子供の思いを引き出し、単元を通して思考が広がるように資料や発問の吟味も大切にしてきました。具体的な内容としては、以下の3点を柱に授業づくりに取り組んでいます。

①自分事のできる社会的事象の教材化 ②社会認識を深める単元構成の工夫

③社会的な態度形成に向かう学びの場の設定

公開授業においては、3点目の社会的な態度形成を目指し、自分の考えを再構築する子供の姿を見ていただくと考えています。

公開授業・学年別授業研究会

※学級閉鎖等により、公開授業の内容等が変更になる場合があります。

学年	組	授業者	小単元名	司会者	助言者
3	1	三浦 良久	「はたらく人とわたしたちのくらし」	雲南市立加茂小学校 校長 古川 善正	松江市立島根小学校 教頭 大坂 慎也
	2	稲村 萌美	店ではたらく人		
4	1	福田 一穂	「きょう土の伝統・文化と先人たち」 残したいもの 伝えたいもの	出雲市立出東小学校 教諭 竹田 賢治	前松江市立雑賀小学校 校長 陶山 昇
	3	中島 瑠美	～地域に受けつがれているなおえ一式がざり～		
5	1	横原 将人	「わたしたちの生活と工業生産」 パソコンをつくる工業	出雲市立神西小学校 教諭 平田 洋	島根県教育センター 指導主事 仙田 浩志
	2	松本 俊夫			
6	1	三原 和美	「江戸幕府と政治の安定」	飯南町立来島小学校 校長 井上 裕史	島根県教育センター 指導主事 須山 健太
	2	土谷 峰到			

学年別課題研究会

学年	提案都道府県	提案者	司会者	助言者
3	岐阜県	岐阜市立長良西小学校 教諭 近藤 創	海津市立城山小学校 教諭 浅野 光俊	岐阜市立長良西小学校 校長 服部 晃幸
	島根県	吉賀町立六日市小学校 教諭 長瀬 歩	吉賀町立朝倉小学校 校長 大田 謙二	松江市立島根小学校 教頭 大坂 慎也
4	徳島県	藍住町立藍住北小学校 教諭 青木 優子	徳島市立川内南小学校 教諭 井内 直加	板野町立板野西小学校 指導教諭 谷口 久美子
	島根県	安来市立島田小学校 教頭 津川 英昭	安来市立赤屋小学校 校長 越野 浩一	前松江市立雑賀小学校 校長 陶山 昇
5	岡山県	岡山市立西小学校 教諭 古屋 佑樹	岡山市立五城小学校 教頭 小山 宏明	赤磐市立山陽小学校 校長 岸本 勝義
	島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校 教諭 河角 公二	松江市立忌部小学校 教頭 清山 智江	島根県教育センター 指導主事 仙田 浩志
6	千葉県	富津市立大貫小学校 教諭 中野 浩太郎	君津市立上総小学校 教諭 鈴木 真人	袖ヶ浦市立平岡小学校 校長 柳井 三重子
	島根県	川本町立川本小学校 教諭 太田 政男	邑南町立市木小学校 校長 松本 潔	島根県教育センター 指導主事 須山 健太